

革新炉ワーキンググループの設置について

令和4年3月28日
原子力政策課

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けては、原子力を含めたあらゆる選択肢を追求することが重要。欧米では、既設炉への財政支援等に加え、革新炉についても、大規模予算支援の下、イノベーションが加速しているところ。
- こうした海外の動向も踏まえつつ、原子力イノベーションを通じて、再エネとの共存、水素社会への貢献といった新たな社会デザインを提示するとともに、革新炉を含めた原子力全体のサプライチェーンの維持・強化が必要。
- 以上を踏まえ、原子力発電の新たな社会的価値を再定義し、我が国の炉型開発に係る道筋を示すため、総合エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会の下に「革新炉ワーキンググループ」を設置する。

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会
革新炉ワーキンググループ委員名簿（案）

（五十音順、敬称略）

座長	黒崎 健	京都大学複合原子力科学研究所教授
委員	遠藤 典子	慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート特任教授
	小野 透	（一社）日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会 企画部会長代行
	小伊藤 優子	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構任期付研究員
	斉藤 拓巳	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 准教授
	高木 直行	東京都市大学大学院総合理工学研究科共同原子力専攻教授
	高木 利恵子	エネルギー広報企画舎代表
	永井 雄宇	電力中央研究所主任研究員
	松久保 肇	原子力資料情報室事務局長
	山口 彰	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 教授
専門委員	大島 宏之	日本原子力研究開発機構理事
	大野 薫	日本原子力産業協会情報・コミュニケーション部課長
	中熊 哲弘	電気事業連合会原子力部長